

所在地 〒530-0031 北区菅栄町9-5
 電話番号 06-6358-1851
 校長名 木本 哲夫
 U R L <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511007>



教育目標

【学校教育目標】
 未来を切り拓くための「生きる力」を育てる

【めざす子ども像】
 「自ら学ぶ子(知)」
 「助け合う子(徳)」
 「健康でたくましく生きる子(体)」

沿革

大正11年 3月 大阪市済美第六尋常小学校として開校
 大正14年 3月 大阪市済美第六尋常高等小学校と校名変更
 昭和16年 4月 大阪市菅北国民学校と校名変更
 昭和22年 4月 大阪市立菅北小学校と校名変更
 平成 2年 1月 大阪市教育委員会研究学校(生活指導)
 平成 3年12月 大阪市小学校教育研究会委嘱校研究発表会(道徳)
 平成 9年10月 第35回全国社会科研究協議会大阪大会
 平成11年 2月 大阪市小学校教育研究会特別活動部研究発表会
 平成13年 2月 大阪市小学校教育研究会特別活動部研究発表会
 平成19年11月 文部科学省国語力向上モデル事業一年次中間報告会
 平成20年11月 文部科学省国語力向上モデル事業二年次最終報告会
 平成23年11月 創立90周年記念式典挙行
 平成24年10月 全国学校体育研究大会にて学校体育研究優良校表彰
 平成29年 2月 大阪市小学校教育研究会生活・総合部研究発表会
 令和 3年11月 創立100周年記念式典挙行予定

学校運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校・家庭・地域)の実現】

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を87%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力・運動習慣調査において、本校の課題である「反復横跳び」について、5月に計測した数値から翌年2月に計測した数値を男女ともに2ポイント向上させる。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和元年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	平均正答率(%)
59	64	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

■結果の概要
 国語は、平均正答率が大阪市平均を上回っているが、全国平均を下回っている。算数は、平均正答率が大阪市平均および全国平均を下回っている。平均無解率については、国語、算数ともに、大阪市平均と全国平均を下回っている。
■これまでの成果とこれから取り組むべき課題
【国語】領域別に見ると、本校の課題であった「読むこと」について、授業改善等取り組んできた成果が出ている。しかし、「話すこと・聞くこと」については、自分の考えについて資料等を提示しながら行うスピーチなどを指導してきたが、十分に力をつけているとは言えない。また、自分の課題を調べてまとめた文章に表すことなどは苦手な児童が多く、指導方法の見直し・改善が必要である。
【算数】領域別に見ると、本校の課題であった「量と測定」について改善が見られた。個に応じた指導や図解でわかりやすく説明したりしてきたことで、児童の理解が進んだといえる。個々のつまづきを確かめながら、基礎・基本をしっかり身に付けていけるように丁寧に指導していくことが大切である。
 国語科をはじめとして授業改善を行い、言語力や論理的思考力の育成に努める。また、読書活動を充実させ、文意を正しく読み取る力の育成を図る。
 算数科においては、式や図を関連付けて読み取ったり、筋道を立てて記述したり、説明をしたりする力の育成を図る。また、国語・算数ともに、習熟度別少人数指導を通して、児童の学習意欲を高めるとともに、個に応じた指導を進める。また、「学習データ配信」を活用して、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることや、授業PCやタブレット端末を活用して、表現力や伝達力を高める学習を進めていく。また、家庭と連携し、個々の児童の学力向上に努める。

令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起り(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	17.30	17.55	32.71	38.74	48.30	9.86	144.36	20.74	50.11
女子	16.23	15.48	36.17	36.14	37.86	10.23	124.91	10.04	49.32

(種目別平均値)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

■結果の概要
 ・本校の課題であった体力合計点については、男女とも全国・大阪市平均を下回っているが、男子については前年度よりも改善されている。
 ・男女ともに握力で全国・大阪市平均を上回った。
 ・男子は、長座体前屈や20mシャトルランで大阪市平均を上回ったが、全国平均を下回った。
 ・体育授業の改善を行ってきたことで、児童自らが体力・運動能力の伸びを実感できるようになってきた。
■これまでの成果とこれから取り組むべき課題
 ・地域のスポーツ活動が盛んで、地域の方々の熱心な指導が、児童の体力・運動能力の向上に良い影響を与えた。
 ・運動場が狭く、運動量の確保が難しいが、手だてを工夫しながら運動遊びや外遊びをして過ごす児童を育てていく。
 ・全国平均との差が大きい「立ち幅とび」等の記録を伸ばせるよう、目標を明確にした上で方法を共通理解し、児童の実態に合わせた指導を工夫するなど、さらに授業改善を行っていく。
 ・地域や家庭と連携し、運動習慣と合わせて生活習慣の定着に向けた取り組みを工夫していく。
 ・集会活動や運動月間などの設け方を工夫し、学校生活の中で児童が運動に慣れ親しみ、成長を実感できるような取り組みを実施していく。

標準服

半袖オープンシャツ (ベージュ色・校章入り) ※白ポロシャツも可、 半ズボン(茶色)	半袖ブラウス (ベージュ色・校章入り) ※白ポロシャツも可、 スカート(茶色)	上衣(茶色)、 長袖オープンシャツ (ベージュ色・校章入り)、 半ズボン(茶色)	上衣(茶色)、 長袖ブラウス (ベージュ色・校章入り)、 スカート(茶色)
夏帽子(ベージュ色・校章入り)		冬帽子(茶色・校章入り)	



未来を切り拓くための「生きる力」を育てる菅北小の教育



自ら学ぶ子

従来からの知識を授ける伝達型の授業ではなく、変化の激しい社会を生き抜くために、主体的・対話的で深い学びを追求します。また、学習内容に応じた効果的な学習形態(個別学習や一斉学習、ペア学習やグループ学習等)を工夫することで、考えを深めたり広げたりできるように工夫しています。学校生活全般における言語活動を充実させるために、「読書通帳」を導入し、読書活動にも力を入れています。



助け合う子

日々の授業において共に学び合う協働的な学習を進めるとともに、さまざまな学校行事を通し、助け合う子の育成に取り組んでいます。また、国際社会において必要とされる多様性を認め尊重する態度を育成するため、国際理解教育にも力を入れています。

健康でたくましく生きる子

健康でたくましく生きる子どもを育てるために、基本的な生活習慣の確立に力を入れています。また、進んで運動する子どもを育てるために、学校生活全般を通じて、体を思い切り動かして遊ぶ楽しさを体感させるよう工夫しています。

特色ある取組

なかよしファミリー

1~6年生で縦割り班(なかよしファミリー)を編成し、異年齢集団によるさまざまな活動を行うことで、上級生には下級生の世話をする思いやりの心を、下級生には上級生に対する感謝とあこがれの気持ちを育みます。児童会活動の「菅北ランド」や「全校遠足」も「なかよしファミリー」で実施しています。

キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通して、キャリア発達を促します。総合的な学習や卒業遠足の職業体験、天神橋筋商店街で実際にお店を出す「キッズマーケット」などを行っています。

ジュニアバンド

本校は、北区の小学校で唯一、金管バンドを有します。創設41年となるバンドで、運動会の開会式で生演奏したり、定期演奏会や北区民カーニバル・菅北サマーカーニバルに出場したりします。大阪市長表彰も受けたことがある歴史と伝統のあるバンドで、親子2代にわたって参加しているというご家庭もあります。

ICK/プログラミング学習

ICKと称して、「マック英会話教室」から、ネイティブな英語講師を校長戦略予算で招聘し、低学年に年間12時間英語を教えてください。(中学年以上は市のネイティブ講師に週1回来てもらいます。)また、We-Do2.0やTrue Trueというロボット等を使って、すべての学年でプログラミング教育にも取り組んでいます。

その他 主な学校行事



滝川小学校
 堀川小学校
 中津小学校
 大淀小学校
 豊崎本庄小学校
 豊崎小学校
 豊崎東小学校
 豊仁小学校
 西天満小学校
 菅北小学校
 扇町小学校